



2025年8月14日

各位

会社名 恵和株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長村 恵 氏  
(コード番号：4251 東証プライム)  
問合せ先 取締役執行役員 管理本部 本部長  
兼 財務部長 吉岡 佑樹  
TEL. 03-5643-3783

## 第2四半期（中間期）連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

2025年2月14日に公表いたしました2025年12月期第2四半期（中間期）（2025年1月1日～2025年6月30日）の連結業績予想数値と、本日公表の実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2025年12月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異 （2025年1月1日～2025年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,561	百万円 1,355	百万円 1,352	百万円 980	円 銭 50.85
実績値（B）	9,913	2,247	1,960	693	37.14
増減額（B－A）	352	891	608	△286	－
増減率（％）	3.7	65.7	45.0	△29.3	－
（ご参考）前期第2四半期実績 （2024年12月期第2四半期）	9,648	2,063	2,567	1,577	81.83

#### （第2四半期（中間期）連結業績予想数値との差異の理由）

売上高につきましては、光学製品事業において、一部米国通商政策の影響による上期実績に前倒し需要が含まれたことに加え、高性能な直下型ミニLED液晶ディスプレイ向け複合拡散板「オパスキ®」が堅調に推移するとともに、従来型の液晶ディスプレイ向けの光拡散フィルム「オパルス®」について、市況の回復による需要増、新規受注の獲得、並びに既存取引先におけるシェアアップ等により、「ノートPC・タブレット」向けを中心に第2四半期連結業績予想対比増収となったことに加えて、中間期における実績平均為替レートが想定より円安となったことにより、前回予想を上回りました。

利益面につきましては、上記の光学製品事業の増収及び為替影響により、営業利益、経常利益は前回予想を上回ったものの、当社が保有する外貨建債権の期末為替レートによる評価替えにより為替差損が発生したことから、経常利益の増減率は低くなりました。なお、親会社株主に帰属する中間純利益は、本日公表の「特別損失（事業撤退損失）の計上に関するお知らせ」に記載の通り、第2四半期連結会計期間において、事業撤退損失832,173千円を計上したことにより、前回予想を下回りました。なお、前回予想の為替レート的前提は、1US\$＝143円としております。

※ 上記に記載した予想数値は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上